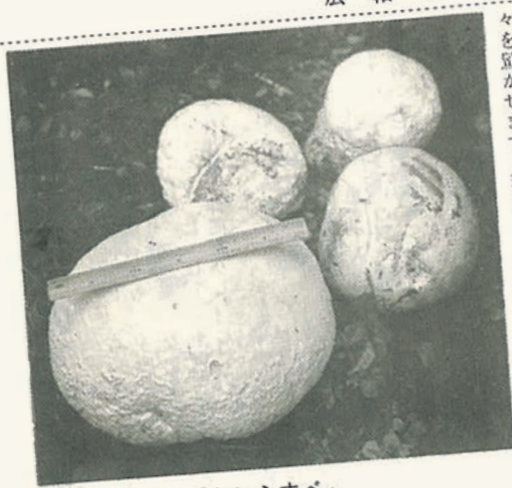


お化けきのこは「おにふすべ」

白鷺 檜 幸男



▲巨大きのこ「おにふすべ」
30cmのものさしをあてて撮影してみました。

先ごろ立木の飯田さん宅で発生したお化けきのこについて、所見を述べさせていただきます。

写真と説明によって、まぎれもなく巨大きのこの一種で本名は、「おにふすべ」一般には、「やぶだま、ほこりたけ」と呼ばれ、秋季好んで畑のすみ、竹やぶの中等に発生し、人頭大に成長してよく人々を驚かせます。若いうちは

内外部とも白色で食用になり成熟すれば褐色となつてたけぼりの胞子を吹き出します。

完全乾燥したものを、「馬勃」と称し、昔から外用止血剤に用いられています。分取学上からは、菌類担子菌門腹菌族のきつねのちやぶくろ科に属しています。

米国では、直径1m以上に巨大成長して食用に供されて

常総共済だより

秋の取り入れも終わり、いよいよ火災シーズンにはいろいろしております。そこで共済組合では、建物秋期加入推進をいっせいに押し進めております。

本年度は、建物共済掛金が3割方安くなりまして100万円につき、火災保険で1,300円総合保険で、3,600円と安くなりました。どうか全戸全棟加入し、安心して生活を送るようお進めいたします。

(1)火災共済の最高限度額は	2,500万円
(2)総合共済の最高限度額は	500万円
(3)器具類の最高限度額は	500万円

家具類は収容されている建物と同時に加入してください。収容建物と合わせて火災共済は2,500万円総合共済は500万円まで加入できます。

とねまち プレイバック

昭和53年
11月発行
広報とね

いるようですが、実物に接し得ず本菌と同種か否か確言はできません。

菌類には他に「かにのつめ蟻茸、肝臓茸、冬虫夏草」等奇妙特異な茸が多々ありますが、本菌もその一例として述べて見た次第です。

【係からお礼】
飯田さん宅のお化けきのこについては、私と同時に取材により、読売新聞にも掲載され、同社では、県林政課特殊林産係に問い合わせた結果、「おにふすべ」にまちがいないことがわかっております。

「おにふすべ」の取材に心

よく応じてくださった飯田さんをはじめその詳細についてご指示くださった檜さんに厚くお礼を申し上げます。
(広報係・山田幸夫)

転居のときは 手続きを忘れずに

児童手当を受けている人は年一回、現況届を提出するのになつていきます。

また、他の市区町村から転居されたときには、新たに認定請求する必要があります。

この場合、一月一日現在住んでいた所の市区町村長が証明

とねまちプレイバック

昭和53年11月発行の『広報とね』に、「お化けきのこはおにふすべ」という記事が掲載されていきました。

記事には、立木地区にある飯田さんの家で、直径30センチを超える巨大キノコが発見され、檜さんによる所見が述べられていました。

オニフスベとは、ハラタケ科ノウタケ属の大型キノコで、真っ白くボールのような姿をしており、夏から秋にかけて庭や畑の隅、雑木林などに発生します。近年では発生数が減少傾向にあり、地域によっては準絶滅危惧種に選定されるなど、とても珍しいキノコです。

記事にもある通り、肉が白い幼菌のうちは、はんぺんのような食感で、皮をむいて調理することで食用にもなりますが、成熟してしまつと内部が褐色に変わり、臭いもきつづく、食用にはできなくなつてしまいます。

最近では気候変動も激しく、自然環境の変化が身近なところにも及んでいます。だからこそ、日々の暮らしの中で自然の豊かさを改めて実感することが大切です。

人口と世帯 (令和8年3月1日現在)

総人口	15,665人 (-48)
男性	7,798人 (-25)
女性	7,867人 (-23)
世帯数	8,162世帯 (-32)

()内は前月比

【4月の納税等】 ※納期限および口座振替日は4月30日です。
固定資産税：1期 霊園管理料：全期
介護保険料：1期